

257th IBB Seminar

核酸やタンパク質結合分子開発のための DNA/RNA ディスプレイ法

講師：相川 春夫 助教

東京大学理学系研究科

化学専攻

日時：2023年9月16日(土)17:30~19:00

会場：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所
第二会議室 22号館 (1階)



Abstract: 生体分子の機能制御を可能にする分子開発を目指して、これまでに結晶構造を基にした分子デザインや化合物ライブラリを用いたスクリーニングが行われてきた。しかし、これら手法にはそれぞれ限界があるのも事実である。例えば結晶構造が利用できない場合や利用できるライブラリの多様性・サイズが十分でない場合である。これらを解決する方法の一つに核酸ディスプレイ法が挙げられる。本法では、小分子ビルディングブロック (BB) を連結していくことで分子を構築していくが、最終的にそのBBの種類・配列を記憶した「核酸 (DNA や RNA)」を分子と連結することが鍵となる。これにより、巨大なライブラリを扱えるだけでなく、結合活性を有する分子の検出や解析を容易にできる。セミナーではこれらについて簡単にお話しする。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野

亀井(内線 8036)、玉村